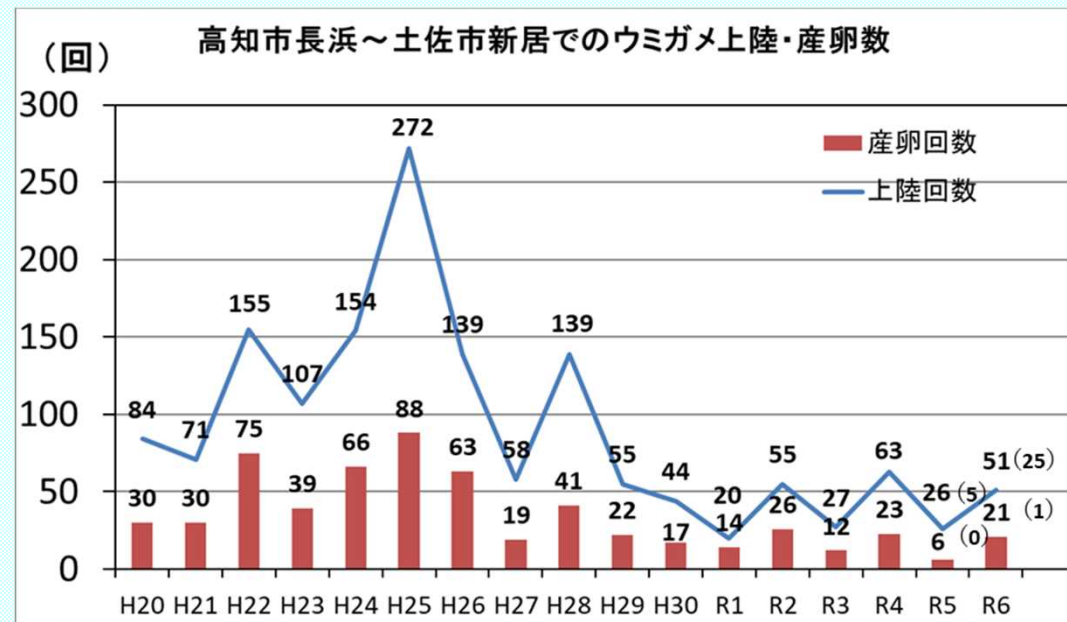


令和6年度の高知海岸におけるウミガメ保護活動

- 高知海岸(南国市十市～土佐市新居)では、5月から8月にかけてアカウミガメ（以下、ウミガメ）が上陸し、産卵します。
- 地域住民（南国市うみがめ守ろう会）や高知大学の海洋生物研究教育施設（海洋動物学研究室）が高知県から許可を受け、ウミガメの保護活動や研究に取り組んでいます。
- 高知市立春野東小学校、春野西小学校では毎年4年生の総合学習において、高知大学と高知河川国道事務所が連携して、海岸の環境についての学習会を開催しています。
- 令和5年5月に高知海岸ウミガメ協議会を発足して、保護活動団体と情報交換を実施しています。

上陸・産卵の実績

- ウミガメの上陸産卵 上陸 51回(25回)
産卵 21回(1回)
- 採卵ふ化場などへの移植 2790個
ふ化して海へ帰った子ガメ 1128匹
ふ化率は 40%
※ ()内は、南国工区の実績



主な保護活動内容

車両進入防止対策（高知市仁ノ）5月～9月

- 車両の乗り入れによってウミガメの卵が潰れてしまわないように、仁ノ海岸に車両進入防止のロープを設置しました。
- 海岸を利用される皆様には、ご理解・ご協力いただき有り難うございました。



総合学習（採卵会）7月春野東小学校

- 7月に採卵保護したふ化場の卵の観察と海岸で清掃活動を行いました。海岸のふ化場から、より安全な春野東小学校のふ化場に移植しました。



総合学習（ウミガメ学習会）7月春野東小学校

- ウミガメの生態を学ぶことで、海岸の環境に関心を深めてもらうことを目的に「ウミガメ学習会」を春野東小学校と春野西小学校と連携して開催しました。



ボランティア清掃活動

- 高知海岸パートナーシップでは、22団体が年間3回、清掃活動をしています。
- 海岸の漂着ゴミは景観を損ねるばかりか、ウミガメの産卵の妨げにもなります。

▼清掃の様子



ウミガメ学習会の開催

高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設の齊藤知己教授と研究室の学生さんが高知市立春野東小学校と高知市立春野西小学校の四年生へウミガメ学習会を開催しました。



国土交通省高知河川国道事務所からは、海岸浸食、高潮、越波対策のため実施している海岸事業の説明や工事現場・ウミガメの卵の保護施設（ふ化場）を見学してもらいました。



学 習 内 容

- ① アカウミガメの産卵地
- ② アカウミガメの産卵
- ③ 卵のひみつ
- ④ アカウミガメのふ化・脱出
- ⑤ 子ガメのひみつ
- ⑥ 絶滅の危機に瀕するウミガメ類
- ⑦ 高知県の現状



子ガメのからだの名称や子ガメしか見られない頭部や甲らの枚数や突起の特徴を教えてくださいました。



アカウミガメの日本での産卵地は、種子島、屋久島が主な産卵地になっていること。四国では、高知県ですが上陸産卵は、近年少なくなっていることを教えてくださいました。



産卵した巣の位置やふ化した子ガメが砂の中からはい出してくる時間や産卵からふ化までの日数、産卵上陸数などを教えてくださいました。



大学の研究施設では、子ガメが泳いでいるのを観察したり、見たことのない器械（ふ化器など）の説明をしてもらいました。



ウミガメが産卵した場所を、クイズとして、先生から質問しました。親がめは産卵場所をわからなくするため、産卵場所以外にも産卵したような場所を作ること(カモフラージュ) がわかりました。ウミガメも頭が良いですね。

ウミガメの卵の観察



小学生は、親ガメが砂浜で産卵し、保護施設（ふ化場）で保護されている卵についての説明を興味津々に聞き入っていました。



直径が約4cmのピンポン球より少し大きめの卵を割らないように、優しく慎重に触れていました。

子ガメの観察



高知海岸でふ化し、大学の施設で研究のため一時的に飼育している赤ちゃんガメを、見させてもらいました。



ふ化するとき、卵の殻を割るための卵角（くちばし上の突起）を確認したり、ひっくり返っても、起き上がれることを教えてもらっていました。

2匹のウミガメ「えがお」と「こころ」とのお別れ学習会

春野西小学校で、少しの間大事に育てられたウミガメが土佐湾沖に放たれる前に、高知大学斉藤先生と研究生の皆さんに学習会をしていただきました。



子ガメがどこの海を回遊し生活し、日本に成長し帰って来ているか発信器を付け調査しています。現在は、黒潮に流され**アメリカ西海岸**の餌の多い場所で成長し、日本に戻ってくるウミガメも多いと考えられていると教えてもらいました。



右の2点は、カメの背中に付けて、どこを回遊しているか移動情報を収集するための**発信器**。左端は、網にかかって死んだウミガメの体内から見つかった**ビニールごみ**と**漁網**であることを、説明してもらいました。



定置網に誤獲されたウミガメの足に**タグ**を付け、放流すると見つかった場合に、どこから来たか調べる事が出来ると説明をしてもらいました。



小学生が、今年カメが産卵しに来た海岸を、来年も産卵しに来れる綺麗な海岸にしようと、一生懸命清掃していました。

上陸産卵期に車両進入防止柵設置しました



産卵のため上陸してくるウミガメが、車両のライトや騒音のため産卵出来なくなるのを防ぐため、毎年5月から9月初めまで柵を設置し看板を立てます。

看板での注意喚起

5月～8月
ウミガメ産卵期間です
ここから先は車の乗り
入れをご遠慮ください

高知県 自然共生課 (088) 821-4842
国土交通省 高知海岸出張所 (088) 848-0038

ウミガメ保護看板を設置しました

高知海岸に上陸する アカウミガメ

高知海岸には
アカウミガメが産卵のため
上陸します。

- 産卵時期は5月～8月にかけて、日没から日の出までの暗い時間帯です。
- 産卵地は、北太平洋では日本だけで、高知海岸は貴重な産卵地のひとつです。
- 産卵場所を用心深く探します。海岸にゴミや漂流物があると産卵できません。
- 絶滅危惧類ⅠB類(EN)「近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの」に分類されています。(環境省レッドデータブックより)

産卵のようす

上陸
上陸し産卵場所を求めて歩きます。

穴ほり
産卵場所まで来ると後ろ足を使って砂をかき出し、巣穴を作ります。

産卵
自分で作った巣穴に産卵します。

穴埋め・カモフラージュ
産卵後はまっすぐ背を目標して歩きます。砂浜にはキタビラのような足跡が見られます。

アカウミガメの卵
1回の産卵で平均100個ぐらいの卵を産みます。直径38mm 卵殻あり白色でピンポン球に似ています。

高知県 うみがめ保護条例

県内海岸に上陸した
ウミガメの捕獲、
卵の採取や損傷は禁止
されています。(平成16年7月1日施行)

アカウミガメのようす
体重100kgの非常に大きなアカウミガメもいます！

甲長＝60～80cm
甲高＝80～90cm

アカウミガメを絶滅させないためにできること

- 海岸にゴミを捨てない
- 大声をあげない
- そばに近づかない
- 産卵期間に花火をしない
- 電灯・カメラなどの光を向けない
- みんなで守ってね！

国土交通省 高知河川国道事務所 高知海岸出張所・高知大学 総合研究センター

海岸利用者へウミガメ産卵期の注意喚起をしました

5月～8月 (ウミガメの産卵期間中) 砂浜へ車を乗り入れないでください！

タイヤ跡を乗り越えられない
産卵場所から出られなくなる
他にも卵がつぶれたり
子ガメがひかれて死んでしまいます！

子ガメを守ってね

アカウミガメを守ろう！

高知県うみがめ保護条例

うみがめの生息環境を守ることを目的に平成16年7月1日から全面施行されました。捕獲や卵の採取、損傷等の禁止規定違反には罰則が適用されます。

国土交通省・高知県

ウミガメ産卵保護にご協力ください！

5月～8月 (ウミガメの産卵期間中)

守ってくれてありがとう

砂浜へ車を乗り入れないでね
花火や大声はやめましょう
ゴミは捨てないでね

国土交通省・高知県・高知市